

長期研修の意義

長期研修の目的は「学校教育の在り方や教育実践上の課題について、教育の本質に基づいた広い視野から考察し、教員としての資質の向上と見識の涵養に努め、併せて学校及び地域の教育を推進するための実践力を養う」です。

今年度は、総合教育センターにおける長期研修員が11名と、静岡市に1名となりました。また、長期研修員の執務場所が長期研修室から所属執務室へと別れての研修となりました。それは、常に指導を仰ぐことができる体制であり、総合教育センターにおける各研修・研究に直に触れることができる反面、常に課長等から注目されていることを意識する環境でした。しかし、長期研修員同士の連携と適度な緊張感、高い集中力をもって研修・研究に携わり、その質の高まりを感じさせる結果をもたらす源となりました。

各研究は、教育改革の流れの中から所属校が抱える課題や長期研修員自身が教育活動実践上の課題と考える事等から研究テーマを設定してあります。長期研修員の教育改革への意気込みと同時に学校及び地域の教育を推進するための実践力の向上を、この研究報告書から読み取っていただけるものと思います。

さて、平成18年度は、国でも静岡県教育委員会でも大きな波が押し寄せた一年でした。中でも教育の憲法ともいわれる教育基本法の改正は、期待と不安の声の中で施行となりました。静岡県教育委員会が進める目標管理システムによる教職員評価制度の導入もまた、多くの期待と不安が寄せられております。

今年度より、総合教育センターの長期研修にカリキュラム開発課、生涯学習推進センターでの研修が加わり、教科に関する研究「地域素材の教材化」や読書指導に関する研究「自ら本に手を伸ばす子の育成」も進み、各地域における独自のカリキュラム作成等での本書の活用も期待されるところです。さらに、教育改革を推進する上での「学校評価」「研修評価」「コミュニケーション能力」「人間関係形成能力」「メディア・リテラシー」「交流活動」「エモーショナルマネージメント・プログラム」「ピア・サポート・プログラム」「特別支援教育」等のキーワードは、本書を読み進める中で必ず理解の一助となると思います。

「満足を追求するのではなく、感動を創造する」「約束にこだわるよりも、目標をたて、目標に向かって邁進する」これは、静岡が誇る高野進先生が講演の中でおっしゃった言葉です。今回の長期研修が高い自己実現へとつながり、常に感動と共に目標に向かって進む教師となることを願っています。

末筆になりましたが、関係諸機関からの各研究への多大な御協力に、心より御礼申し上げます。

平成19年3月

静岡県総合教育センター 副所長 渡邊美恵子